

お元気ですか

南 恵子

です

ご相談はこちらへ
南恵子事務所
tel 3790-1523



日本共産党品川区議会議員 南恵子事務所 八潮5-12-65-503

区議団 e-mail info@jcp-shinagawa.com

これでいいのでしょうか 品川のごみ行政

地球温暖化を加速 させるもの

7月30日に開かれた区民委員会で、資源とごみの分別変更について報告がありました。

資源改収品目に、汚れていないプラスチック製容器包装と蛍光灯を追加するモデル収集を昨年7月から地域を指定して実施しています。しかし、汚れているプラスチック製容器は燃やすようになりました。燃やして出る一酸化炭素は地球温暖化を加速させるとして、今、大問題になっています。

区はモデル指定地域で事前説明をしましたが、今回の変更で評価できるのは、汚れていないプラスチック製容器包装と蛍光灯を資源回収品目に追加し、燃やさないようにしたこととです。しかし、一方では下の枠に示したように、汚れが落ちにくいプラスチック製容器包装、その他のプラスチック、ゴム製品類、皮革製品類を燃やせるごみとしました。

このような措置をした背景には、東京23区清掃一部事務組合が出資をして、ごみを燃やしてできる熱を回収し電力として売る事業に取り組みようになったことです。

電力を売れば利益を上げることが求められます。そうなるとたくさんのごみを燃やすことになります。

地球温暖化が深刻になっているのに燃やしているのでしょうか

地球温暖化の防止策を決めた京都議定書で、日本のCO2削減目標は90年比でマイナス6%ですが、今日的にはプラス8%になっているといわれています。削減することが至上命

題で、自治体は国と一緒に率先して取り組む努力をしなければなりません。TVや新聞で氷河が大幅に後退しているアルプスや、北極の氷河が次々に崩れている様子が報道され、見る人の心を痛めています。今回の、不燃ごみを可燃ごみにするという変更は、氷河の大幅な後退や崩落をさらに加速させるのもで、止めさせなければなりません。みなさんのご意見を聞きながら、取り組んでいきます。

不燃ごみから可燃ごみに変更するもの

- 汚れが落ちにくいプラスチック製容器包装
- その他のプラスチック
- ゴム製品類
- 皮革製品類

新たに資源回収ステーションに出すもの

- 汚れていないプラスチック製容器包装
- 蛍光灯